

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧いただけます。

かつしか区民連合

情報の共有と地域に寄り添ったまちづくりを

東京理科大学との連携・協力体制

問 以前から東京理科大学学生による区立学校への理科キャラバン隊を提案している。理数系に強い葛飾区という教育特色をつくることができると考えるが区の課題認識と見解を伺う。

答 キャラバン隊については理科好きの子どもを増やすことにつながるかと考える。学生の授業等に支障のない日程で実施し、本区の理数教育の充実を図ることができるようと大学と協議し、実施に向けて検討を進めていく。

※他の質問項目 薬学部との連携 など

子どもの居場所づくり

問 児童保育の待機児童解消に向け、公立保育園や私立幼稚園の活用はできないのか、課題認識と見解を伺う。

答 葛飾区私立幼稚園連合会と幼稚園の活用について協議・検討を進めているが、専用区画の確保やトイレ設備などの課題がある。公立保育園についても同様の課題があるが、子育て支援部と連携し検討していく。

※他の質問項目 朝の小1の壁対策 など

堀切菫圃駅周辺のまちづくり

問 駅周辺の無電柱化は景観や土地の価値向上につながる重要な観点なので、視野に入れて取り組むべきかと考えるが、課題認識と見解を伺う。

答 当該地域の区道の無電柱化は地上機器の設置場所確保などの技術的課題があるが、よりよい歩行空間の確保に向け検討していく。

※他の質問項目 歩行者中心のまちづくり など

新小岩地区の特徴に配慮したまちづくりの推進

新小岩駅周辺のまちづくり

問 北側地区には東京聖栄大学があり、文化創造ゾーンとしての位置づけも期待される。まちづくりの推進や本区との協働などの観点からも支援をしていく必要があるかと考えるが、区の見解を伺う。



新小岩駅北側地区の東京聖栄大学

答 東京聖栄大学は、長年にわたり地域全体の健康意識向上に貢献いただいている。本区では公共性や公益性を考慮しながら、ふるさと納税制度を活用した補助スキームを提案するなど協議を行っており、今後もさまざまな支援策を検討していく。

問 新小岩公園再整備の基本構想策定に当たっては、南地域・北地域・一般の3グループで検討会を開催し意見交換しているが、その後の地元への情報提供が不足していると感じる。改めて丁寧な情報提供や意見交換を進めていくべきかと考えるがどうか。

答 今後、土壌汚染対策など多くの課題が生じることが見込まれるため、現在行っている取り組みのほか、適宜地元説明会を開催するなどして、丁寧に情報提供や意見交換を行っていく。

問 駐輪場整備は利用率の向上を考慮しながら進めていく必要があるかと考えるが、区の見解を伺う。

答 区民の駐輪需要を適切に受け止めるために、DXによる多様な決済手法の導入や鉄道駅までの動線を工夫するなど、使いやすく利用しやすい駐輪場を整備するとともに、利用率を向上させる施設運営を行うなどの取り組みを進めていく。

※他の質問項目 葛飾あらかわ水辺公園の再整備 など

日本共産党葛飾区議会議員団

物価高騰から暮らし営業を守る緊急提案・税金は暮らし優先に

物価高騰等から区民生活を守るための緊急対策等

問 物価高騰緊急対策支援金を早急に実施するとともに、給付額を増額するべきかと思うがどうか。

答 現時点で支援金を実施する考えはない。社会経済情勢を注視しさまざまな角度から必要な支援を行っていく。

問 高騰を上回る賃上げである。区内中小企業者に対して支援し、賃金の底上げを実施すべきかと思うがどうか。

答 社会経済情勢を注視しながら、さまざまな角度から支援を検討していく。

問 シルバーパスはもとも無償とされていたものであり、区独自の補助などを検討すべきかと思うがどうか。

答 都や他区で実施する補助の実施状況などについて、注視していく。

問 西新小岩地域は大型バスを走らせることが困難である。地域乗り合いバスの検討をしようか。



地域乗合ワゴンさくら

答 地域の現状に合わせた移動手段の確保について、引き続き検討する。

※他の質問項目 暑さ対策 など

災害対策

問 垂直避難や縁故避難ができない災害弱者への対応は自助・共助が働かず、

公助での対応となるかと思う。どのような避難行動になるのか伺う。

答 移送訓練を積み重ね、優先的に避難支援が必要な方への移送体制を整備するなど、避難行動要支援者全体の避難支援方針を策定していく。

問 人権尊重などの観点から、世帯ごとのテント、段ボールベッドなどを計画的に確保すべきかと思うがどうか。

答 特に要配慮者が、段ボールベッドなどを早い段階で利用できるよう、受援体制のさらなる構築や備蓄の充実に向け、取り組みを進めていく。

※他の質問項目 豪雨対策 など

巨大開発事業と庁舎問題

問 区役所庁舎保留床購入で、積立金が不足したら起債するとしているが、他の再開発等で財源が不足しても起債するの。多額の利払いによる財源不足を生じさせるのではないかと懸念する。昨今の物価高騰の影響で経費の増加が見込まれるため、起債の活用も検討している。

※他の質問項目 再開発後の施設維持のリソース など

バルサアカデミー葛飾校の問題

問 区政に混乱をもたらした責任は区長にあり、辞職を含めた責任を検討する段階にきているのではないかと懸念する。

答 私が先頭に立ち、問題解決に向けてスピード感を持って全力で取り組んできたところであり、今後もこの姿勢に変わるところはない。

みらい葛飾(生活者ネット・無所属)

問 プレコンセプションケア普及啓発の取り組みの一つとして実施される、小中学生を対象としたカリキュラムはSRHRに基づいてはどうか。

答 小中学生を対象としたプレコンセプションケアでは、子どもが自らの健康を維持するための情報や性と生殖に関する正しい知識の提供が必要であるため、関係部署とさまざまな機会を通じて普及啓発を行っていく。

※他の質問項目 包括的教育 など

人工芝

問 人工芝を使用する際には効果的なメンテナンス流出抑制対策の実施を求める。新たに整備する施設や既存施設の人工芝への対応を伺う。



東新小岩運動場の人工芝

答 新たに整備する際には耐久性が高く、マイクロプラスチックの発生を抑制できる製品を選定する。敷設後の施設では具体的な対策について検討する。今後も最新の情報を集め、環境への影響を低減できる対策を講じる。

※他の質問項目 課題認識 など

声を上げにくい人に寄り添った仕組の構築と施策の実現

問 バリアフリーと共生社会の実現

答 障害者・認知症当事者や家族に対する支援体制の強化について伺う。答 障害や認知症のある方、家族の状況に合わせた支援を行っている。相談は相談支援事業所、高齢者総合相談センターなどできめ細かく実施している。引き続き支援の充実に努める。

※他の質問項目 ユニバーサルデザイン推進の現状と課題 など

若者支援の構築(新宿歌舞伎町「きみまも」視察を踏まえて)

問 窓口混雑の解消に向けては、「書かない窓口」から「行かない窓口」・「待たない窓口」へ移行していく必要があるかと考えるが、今後の窓口のDX

問 「葛飾版きみまも」としての導入可能性、試行的取り組み、具体的な検討状況について伺う。

答 導入に向けた具体的な検討は行っていない。今後、本区の実情に合わせて、区内におけるニーズの把握なども踏まえながら、気軽に利用できる若者の居場所・相談窓口の設置などの環境づくりについて検討していく。

※他の質問項目 取り組み事例 など

自由民主党議員団

真の協働を目指した組織づくりと区内活性化を

問 さまざまな協働の活動を持続可能な活動とするためにも、次世代を支える若者に対する施策を考えるべきかと思うが、区長の見解を伺う。

答 若者がさまざまな活動に関心を持ち、協働の活動に参加することで、地域や団体、事業者などとの交流が生まれ、地域への愛着を育むことにつながり、協働の担い手に回ることが期待できる。協働を進めていくためには、まず本区のこと、本区の状態やさまざまな活動団体の状況などを知ってもらうことがスタートであり、大変重要であると考えている。そのため、学生の学校での活動、防災や防犯、まちづくりなどにおける地域での活動など、本区からの情報発信力を強化してきた。これからも一層情報の発信と共有を強化し、若い世代が興味や関心を持って活動に関われるように取り組んでいく。

※他の質問項目 協働の成功事例 など

戸籍住民課窓口の長い待ち時間の解消

問 窓口混雑の解消に向けては、「書かない窓口」から「行かない窓口」・「待たない窓口」へ移行していく必要があるかと考えるが、今後の窓口のDX

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

の方向性について伺う。

答「行かない窓口」実現のための手続のオンライン化に当たっては、より必要性の高いものから進めることが重要であると考えており、特にデジタルになじみの深い世代が対象者となることが多い子育て、教育分野の手続を中心にオンライン化に取り組み、区民の方が利用しやすいものとする。また、「待たない窓口」については、現在戸籍住民課と新小岩区民事務所に、インターネット上で呼び出し状況を確認することができ、発券機を導入しており、来年度に亀有区民事務所へ導入したいと考えている。今後も、窓口DXを推進し、便利で快適な区民サービスを実現していく。

※他の質問項目 コンビニ交付利用の実績 など

四つ木地域のまちづくり

問四つ木地域をはじめとした区内活性化を図るためのキャプテン翼を活用した取り組みの現状と、今後について区の見解を伺う。



四つ木駅

答キャプテン翼にゆかりのある四つ木

・立石地域では、キャラクター銅像の設置や、日本語版・英語版の銅像巡りマップの製作、京成電鉄と協働した四つ木駅構内の特別装飾のほか、地元商店でのオリジナルグッズ販売などを実施している。また、令和8年2月には、にこわ新小岩でキャプテン翼をテーマとした展覧会の実施

に合わせた地域の回遊につながるデジタルスタンプラリーを予定するほか、来年度は、全国みどり花のフエアかつしかにおけるキャプテン翼銅像の花装飾を検討している。今後、もより多くの観光客にお越しいただけるよう、キャプテン翼を活用した観光振興のさらなる取り組みを検討していく。

※他の質問項目 学校改築事業によって創出される跡地の活用 など

他の質問項目 女性視点からの防災対策、働きやすいまちを目指したハラスメント対策

適正な区政運営のために将来を見据えた人事戦略を

葛飾区の組織と人事

問適正な区政運営には、トップの将来を見据えた人事戦略が欠かせないと考えるが、区長の考える人事戦略について具体的な見解を伺う。

答さまざまな課題に対し、私は優秀な職員を確保し、職場においてその能力を十分に発揮してもらうことが重要であると考えており、それを実現していくための道筋を示すものが人事戦略であると捉えている。そのため、私の考える人事戦略は、職員が職場で十分に能力を発揮していくために、人材確保の徹底をはじめ、育成の充実や適正な人員配置、勤務環境の整備を推進し、職員がやりがいをもって仕事に臨むことで、生産性の向上を図っていくものである。

※他の質問項目 管理監督職の人員計画 など

実施だけで終わらない成果ある子育て・教育施策を

子育て・教育施策の成果

問子育て・教育施策の成果は、実施したことが成果ではない。それによって、社会がどのように好転し、さらにそれによって得られたものが成果であると思う。この点を踏まえて、この4年間で実施した無償化施策などの子育て・教育施策の成果をどの

ように区民の方々に説明するつもりなのか、区長の考えを伺う。

答給食費の完全無償化など本区の先駆的な取り組みによって、全国的な子育て支援のレベル向上を牽引するリーダーシップを発揮できたものと考えている。取り組みの成果として、政策・施策マーケティング調査における「子育て支援が充実していると思うか」に関する指標もこの間上昇を続けている。今後も、さらなる子育て・教育支援の充実はもちろん、交通便利性をはじめとする安全・安心・快適な生活環境の向上を図りながら、本区の魅力について区内外に発信し「子育てするなら葛飾で」と思ってもらえるまちづくりを推進していく。

※他の質問項目 子育て・教育施策における行政評価 など

葛飾区議会公明党

未来を見据えた判断力による区政のかじ取りが必要だ

葛飾区基本計画

問これまでの基本計画の進捗について、区長の認識を伺う。

答順調に進捗しているものと認識している。引き続き、子育て世代を中心とした若い世代の流入や定住を促進しながら人口ビジョンに掲げる課題解決を図り、将来にわたって暮らしやすい、夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けて取り組んでいく。

※他の質問項目 人口ビジョン など

教育行政

問現状の学校プールでの熱中症対策は喫緊の課題である。今年度から配備した日よけなどの効果の検証と来年度以降の手立てを早急に検討するべきと思うが、区長の考えを伺う。

意見を聞きながら、日よけ以外の対策も含め、熱中症対策のさらなる充実を検討していく。



学校プールの遮光ネット

問バルサアカデミー葛飾校におけるこれまでの混乱について教育長はどのように受け止めているのか。なぜ、これまでその責任を取る態度表明をしなかったのか伺う。

答何の責任もない子どもたちと保護者に大きな影響が出ていることについては、大変申し訳なく責任を感じている。態度表明については、教育長として教育行政全般について、常に全力で取り組み、最善を尽くすことが責任を果たすことであると認識し、努めてきたものである。

※他の質問項目 不登校対策 など

環境施策

問脱炭素化のさらなる推進には、より一層の区民の意識啓発が必要だと考える。水素ステーションの設置などCOP28で脱炭素化の講演をなされた区長にふさわしい施策の展開を期待しているが、区長の見解を伺う。

答脱炭素社会の実現には、あらゆる場面・分野において意識改革を進めていくことが大切である。特に日常生活において区民一人一人が脱炭素を自分事として意識していくことが極めて重要である。今後も脱炭素をさらに推し進めていくために、水素ステーションの誘致の検討など、新たな施策にも積極的に取り組んでいく。

※他の質問項目 全国みどりと花のフエアかつしか など

人事

問昨年度末には、役職定年となる職員が退職後の人生にも関わるような出来事があった。組織の成立要件の一つと言われるコミュニケーションの欠如からなるこのような事案が職員のモチベーション低下につながると危惧するが、区長の見解を伺う。

答本件は、コミュニケーションの欠如によるものではなく、本区が持続的な区政運営を行っていくために必要な対応をしたものであり、他の職員のモチベーション低下につながるようなことはないと考えている。

※他の質問項目 例外的措置 など

区長選

問改めて区長選出馬の意志と、バルサアカデミー葛飾校の問題などに収束の目途が立たない状況の中、選挙戦を通して4期16年の総括と今後の区政運営のビジョンをどのように示すのか伺う。

答本区が直面している課題を着実に解決すると同時に、常に10年20年先の未来を形作る視点で、区議会と議論を重ね、区民や事業者との協働により区政を進めてきた。今後も、これまでの取り組みをさらに発展させ、多様性を尊重し、子どもから高齢者まで誰もが安全で安心していつまでもいきいきと暮らせる葛飾の実現のため、新たな課題にもチャレンジする姿勢で、積極果敢に取り組んでいく所存である。来るべき選挙に出馬し、区議会と協働しながら引き続き区政を担っていききたいと考えている。

無所属 (※4)

確実な職員の確保と負担軽減で質の高い持続可能な区政運営を

生活保護費の過誤と対策

問福祉事務所職員の負担軽減、増員が必要と考えるがどうか。

いる中、生活保護受給者の抱える課題は多様化している。本区では、東西生活課に就労支援などの専門的な業務に外部委託事業者などを活用して、職員の負担軽減を図っている。今後も保護受給者に寄り添いながらきめ細やかな支援を行えるよう業務体制を整えていく。

※他の質問項目 昨年度まで過誤に気づくことが出来なかった原因 など

安定的な区職員確保

問現場の経験・知識を身につけた職員を育成し、安定的な公共サービスの質を保つことが必要である。区職員への応募数を上げ、退職を止め、確保するための賃金体系や労働環境改善が重要と考えるが、本区の考えを伺う。



葛飾区総合庁舎

答行政需要が増大する一方で特別区への志願者数は相対的に減少している。また、区役所に限らず民間も含めて転職が盛んになっており、今後は勤務先として選んでもらうことが重要となる。そのためには、給与水準や労働環境の改善に加え、改めて区役所における仕事の意義を丁寧に伝えながら、やりがいを高めてもらうことで職員の確保に努めつつ生産性の向上を図り、質が高く安定的な区民サービスの提供につなげていきたいと考えている。

※他の質問項目 会計年度任用職員の正規雇用化 など